

基本的施策

- ①安心できめ細かな教育実現
- ②子育て世帯の学資援助
- ③将来を担う若者を支援
- ④小中一貫教育の導入
- ⑤校外教育への支援

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	学力向上対策支援員事業 担当課：学校教育課	個に応じた指導や、きめ細かな指導の充実を図るため、担当教師の指導を補助する支援員を配置した。	会計年度任用職員の任用により、担当教諭の指導を補助する個に応じた指導や、きめ細かな指導の充実を図ることができた。	各学校からの強い要望もあり、令和5年度以降も継続していく方向である。
2	学校給食費無料化 担当課：教育総務課	市内小中学校で児童・生徒に提供される給食を無料化（H29～実施）。継続的な実施による本施策への理解を図るため、保護者への通知や広報でのお知らせを行った。	学校給食費無料化の継続的な実施により、子育て世代の経済的負担を軽減することで、学びや子育てを支援することができた。	本事業の内容周知や更なる理解を図る必要がある。
3	東地域小中一貫教育推進事業 担当課：学校教育課	令和4年度4月、みどり市初の義務教育学校「あずま小中学校」が開校した。英語教育の充実、プログラミング学習、デジタル教科書の整備等による先進的な取組を行った。	少人数学級の利点を生かし、一人一人に合わせたきめ細かな授業を実施することができた。デジタル教科書により、音声教材や映像教材の活用を図ることができた。	令和4年度から主な予算を英語力向上事業へ移管している。英語科を除くデジタル教科書費用や教材費等は今後も継続する。
4	ジュニアアカデミー事業 担当課：学校教育課	プログラミング的思考力の育成を目的とした「MIDORIプログラミング教室」を、市内小中学生を対象に実施した。	大学教授の指導の下、コンピュータが実行する一連の作業をプログラミングしてロボットを動かした。授業とは異なる体験学習の機会として、有意義な活動であった。	令和5年度以降は、プログラミング教室と学校での講演会等をセットにして行うなど、児童生徒の学習の機会を増やしていく。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）

学校生活に満足している児童・生徒の割合(①小学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		90.6	92.1	91.9	91.9	90.9			95.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から1.0ポイント下降しており、めざそう値に比べて4.1ポイント低い状況です。	90パーセント以上という高い水準を維持しているものの、令和3年度よりわずかに下降しました。新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた学校教育活動が徐々に再開され、児童の活動場面が増えたことで学校生活への意欲を高めた児童がいた反面、それを負担に感じる児童もいたと考えられます。今後も、児童一人一人の思いを大切に、きめ細かで質の高い教育を推進します。また、Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の結果分析を生かすとともに、児童主体の活動を多く取り入れる等の工夫を通して自己肯定感を高め、居心地の良い学校・学級づくりを行います。								
備考：「学校評価がトライト」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。									

学校生活に満足している児童・生徒の割合(②中学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		91.1	86.3	85.8	91.1	88.7			95.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.4ポイント下降しており、めざそう値に比べて6.3ポイント低い状況です。	大きく上昇した令和3年度と比較すると、2.4ポイントの下降となりましたが、コロナ以前と同等の満足度となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた学校教育活動が徐々に再開され、生徒の活動場面が増えたことで学校生活への意欲を高めた生徒がいた反面、それを負担に感じる生徒もいたと考えられます。今後は、生徒一人一人が活躍できる場をクラスや学校行事、生徒会活動等の中で設定し、所属感や自己肯定感を高めます。そして、一人一人に寄り添ったきめ細かで質の高い教育を推進していきます。								
備考：「学校評価がトライト」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。									

基本的施策 ①安心できめ細かな教育実現

みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(①小学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		76.5	77.7	71.0	69.5	65.4			80.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から4.1ポイント下降しており、めざそう値に比べて14.6ポイント低い状況です。	目標値に到達していない児童が、令和3年度と比較して4.1ポイント増えており、課題は大きいと考えます。ICT機器が導入され、活用が進んでいますが、それらが学力向上に結びついていないものと考えられます。学習の習熟度にはばらつきがあるため、児童のタブレット端末を活用して、個々の学力にあった個別最適な学びができるよう努めます。さらに、ICTの効果的な活用について研修を進めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めます。								
備考：									

みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(②中学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		70.1	71.9	69.7	66.3	69.0			75.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.7ポイント上昇しており、めざそう値に比べて6.0ポイント低い状況です。	めざそう値より6.0ポイント低い状況にあり、依然として課題は大きいと考えますが、回復傾向が見られます。中学生は小学生と比べてICT機器のスキルが高いほか、A Iドリル等を家庭学習でも活用している成果だと考えられます。学校の実態により課題は様々ですので、各学校ごとに実態を分析するとともに、個々の学力に合った個別最適な学びができるよう努めます。さらに、ICTの効果的な活用について研修を進め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めます。								
備考：									

体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(①小学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		29.3	32.0	—	5.8	13.8			35.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から8.0ポイント上昇しており、めざそう値に比べて21.2ポイント低い状況です。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止されていた全国体力運動能力・運動習慣等調査を実施することができました。学校生活が徐々に通常の状態に戻り、運動する機会が増えたことに加え、コロナ禍にあっても工夫した体力向上対策を継続してきたことで、大きく向上したものと考えられます。まだ、めざそう値には届かない状況ですので、引き続き各学校ごとに工夫した体力向上のための活動を実施していきます。								
備考：体力・運動能力調査における優良証									

体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(②中学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		19.6	21.5	—	17.9	17.5			25.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.4ポイント下降しており、めざそう値に比べて7.5ポイント低い状況です。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止されていた全国体力運動能力・運動習慣等調査を実施することができました。令和3年度よりわずかに下降していますが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、体育の授業や部活動に取り組んだ成果は表れていると考えます。また、中学校では部活動指導員の配置による部活動の充実を図ることで、専門的技術の向上に努めています。これらの取組を通して、さらに運動する機会を確保していきます。								
備考：体力・運動能力調査における優良証									

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ②子育て世帯の学費援助

学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		77.9	76.0	80.3	83.5	81.8			84.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から1.7ポイント減少し、めざそう値(R6)に比べて2.2ポイント少ない状況です。	<p>本施策（経済的支援）により、多くの世帯が子育て環境が良くなったと感じていることが、約76～84%（子育て環境が良いと思う市民の割合）という結果に表れているものと考えられます。</p> <p>R4年度は、R3年度より1.7ポイント減少し81.8%の数値となりました。</p> <p>市立小・中学校の給食費無料化が事業開始から6年経過し、本施策に対し、一定程度認識が定着したことで当然のことと認識されつつあり、他方の援助に視点が移りつつあることが要因と考えられます。</p> <p>めざそう値の達成のためには、本施策内容の更なる周知や理解のほか、制度研究を図る必要があると考えます。</p>								
備考：まちづくり市民アンケート									

基本的施策 ③将来を担う若者を支援

奨学金新規利用者数	実績 (人)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		8	13	17	19	17			53
R4状況	誘因・要因・課題								
R4年度の新規利用者数は5人で、前年度から2人減少しました。継続貸与者との合計は17人でめざそう値との差は36人です	<p>令和2年度より、国が行う高等教育の修学支援新制度として、非課税世帯などの低所得者に対する修学の機会を支援する給付型奨学金制度が始まり、低所得者への支援が手厚くなったことが新規利用の件数に影響を与えている要因の一つと思われます。</p> <p>なお、国の奨学金制度の状況を踏まえ、今後どのような需要がどこにあるか調査・研究していく必要があると考えます。</p>								
備考：市奨学金新規契約者数及び市奨学金継続貸与者数									

基本的施策 ④小中一貫教育の導入

学校生活に満足している児童・生徒の割合（東地域）	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		90.0	85.7	83.3	89.4	87.5			95.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から1.9ポイント下降しており、目指そう値に比べて7.5ポイント低い状況です。	<p>令和4年度4月、義務教育学校である「あずま小中学校」が開校しました。5年生から教科担任制を導入し、一人の教員が9年生まで一貫した指導を行うことで、児童生徒一人一人の力を伸ばしています。また、英語教育やプログラミング教育等、特色ある教育に取り組んでいる他、多くの異学年交流も行っています。令和3年度から1.9ポイント下降していますが、今後あずま小中学校ならではの教育が軌道に乗っていくことで、満足度の上昇につながるものと期待しています。</p>								
備考：学校評価における学校生活満足度評価（東地域のみ）									

基本的施策 ⑤校外教育への支援

自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合(①小学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		75.0	75.0	80.0	83.1	82.6			80.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.5ポイント下降しましたが、めざそう値には達しています。	<p>令和3年度よりわずかに下降しましたが、めざそう値は達成しています。学校の授業改善だけでなく、家庭学習の内容や方法について、きめ細かに保護者へ啓発を続けてきた結果だと考えられます。しかし、依然として児童の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、児童の意識に対して家庭の見方は厳しい傾向が続いています。今後もタブレット端末の活用など、学校と家庭とが連携して学力向上に努めることで、家庭においても児童が進んで学習に取り組む様子が理解されるよう取り組んでいきます。</p>								
備考：学校評価における家庭学習評価									
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合(②中学生)	実績 (%)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		76.0	76.0	76.0	78.4	74.3			80.0
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から4.0ポイント下降し、めざそう値に比べて5.7ポイント低い状況です。	<p>令和3年度より4.0ポイント下降しました。小学校と同様に生徒の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、生徒の意識に対して家庭の見方は厳しい傾向が続いています。しかし、タブレット端末の活用が日常的になったことから、生徒の学習意欲が増している様子も見られます。中学生にも、家庭学習の内容や方法についての指導を行うとともに、引き続き学校と家庭とが連携して学力向上に努めることで、家庭においても生徒が進んで学習に取り組む様子が理解されるよう取り組んでいきます。</p>								
備考：学校評価における家庭学習評価									

基本目標 2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

基本的施策

- ①子育て応援情報の発信
- ②働く親への支援充実
- ③出産希望者の支援
- ④子育て世帯の経済的支援
- ⑤子育て環境の整備
- ⑥出会いの場の創出

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	子育てアプリ情報提供事業 担当課： こども課	アプリの利便性の向上を図るため、アプリの新たな機能などについて調査・研究を行った。	アプリの新たな機能等について調査・研究し、令和5年4月25日にリニューアルすることができた。 新たに、予防接種漏れや接種間隔ミスを防ぐことができる「予防接種AIスケジューラー」や月齢に合わせておすすめの食材が表示される「離乳食サポート」などの機能が追加された。	利便性の向上を図るため、令和5年4月25日、アプリのリニューアルを行い、アプリ名を「みどり市子育てナビ」とした。保育園等や小学校の全児童にチラシを配布するなどして周知を行ったが、今後もアプリ利用者を増やすために、保健センターでのチラシ配布など周知に努めていく予定である。
2	子育て応援サポーター事業 担当課： こども課	子育て講座（ほめトレ）の修了者にサポーターとして、周囲の子育て中の人にアドバイスをしてもらう人を増やすよう、例年同様、子育て講座を年7回企画した。	7回企画したうち2回は、応募（参加）者がいなかったため、周知・制度理解の促進を行う必要がある。	周知の強化を図るとともに、講座の時間設定などを工夫して、参加者の負担軽減を行うなど、より多くの方が子育て講座に参加していただけるよう努める。
3	産後ケア事業 担当課： 健康管理課	妊娠届出時にパンフレットを見ながら制度の周知及び妊娠後期の電話連絡により妊婦相談を実施した。 産後に不安を抱える妊婦に対し、協力医療機関で助産師等の専門スタッフから、こころとからだ、育児のサポートを受けるプランの提供など連携をとりながら、産後ケア事業の紹介を行った。	妊娠後期の状況を確認することで事前に利用希望の把握ができ、産科協力機関との連携がとりやすくなった。そのため、支援が必要な方の緊急的な利用についてもスムーズに行えるようになった。	今後も妊娠届出時に資料を見せながら丁寧にわかりやすく周知を行い、支援を必要とする人が利用しやすく、安心した生活が送れるよう継続した支援に努める。

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
4	子育て世代包括支援センター事業 担当課： 健康管理課	妊娠、出産、子育て中のさまざまな質問や悩みを、保健師や助産師に相談できる窓口を設置して対応した。 妊娠期からの継続した相談・支援体制を整えられるよう、支援プランの作成、見直し、評価等を行った。	支援プランを作成し見直しをすることで対象の状況把握が行いやすく、関係機関と連携しながら継続支援を行っている。	令和4年度から保健センターが1カ所に集約されたことで情報共有が行いやすくなった。令和5年度は定期的に評価日を設定し支援プランの見直しをしながら対応している。 関係各課との連携を密にとり、妊娠中から産後へと切れ目のない伴走型相談支援の充実を図る。
5	ファミリーサポートセンター事業 担当課： こども課	育児・介護を地域で助け合う「ファミリーサポートセンター」を、桐生市と共同して、NPO法人へ委託している。病児・病後児の預かりに対応できる提供会員を増やすため、受講が必須となる「24時間講習」を実施した。また、提供会員や利用会員を増やすために、入会説明会を実施した。	「24時間講習」については、平成30年度以来3年ぶりに開催することができ、病児・病後児の預かりに対応できる提供会員を増やすことができた。	提供会員や利用会員を増やすために入会説明会を継続実施する。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

合計特殊出生率		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績		1.47	1.40	1.37	1.45				1.77
R4状況		誘因・要因・課題							
R4年度の値は未公表です。 【参考】R3年度値はR1年度から0.08ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて0.32ポイント少ない状況です。		みどり市の令和3年度値は1.45で、群馬県全体の1.35より0.1ポイント上回りました。（令和4年度値は令和5年10月頃公表予定）実績値は、めざそう値には届かない状況ですが、県内の値が低下する中、みどり市においては値が上昇しております。要因としては、学校給食費の無料化をはじめとした特色ある教育の充実や、子育て世帯への支援事業の実施など、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組が効果的に機能した結果であると考えられます。							
		備考：出生率計算の際の分母の人口数を出産可能年齢（15～49歳）の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯何人の子供を産むのか推計							
年少人口（0～14歳）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		6,522	6,278	6,122	5,990	5,810			6,569
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から180人減少しており、めざそう値（R6）に比べて759人少ない状況です。		出生数の減少に伴い、年少人口も年々減少しています。これは、みどり市のみならず、全国や群馬県全体でも同様の推移となっています。教育環境及び子育て環境を充実させ、効果的にPRすることで、みどり市で教育を受けさせたい、住みたいと思う人を増やし、子育て世帯の流入促進・流出抑制を図ります。							
		備考：住民基本台帳における年少人口							
基本的施策 ①子育て応援情報の発信									
子育て応援アプリ「みどりん」の年間ダウンロードユーザ数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		259	279	234	201	224			300
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から23人増加しているものの、めざそう値（R6）に比べて76人少ない状況です。		母子健康手帳発行時や出生後の児童手当手続き時に、チラシによりアプリの活用について周知していますが、ダウンロード数は伸び悩んでいる状況です。令和5年度からは、子育て応援アプリのリニューアルを行い、アプリ名も「みどり市子育てナビ」とし、新たな機能を追加（予防接種AIスケジューラー、離乳食サポートなど）することで利便性を向上させ、利用者数を増やします。							
		備考：							
基本的施策 ②働く親への支援充実									
保育施設と学童保育施設の待機児童数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		0	0	0	0	0			0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から引き続き0人であり、めざそう値（R6）を維持している状況です。		保育施設と学童保育施設への入所者は、飽和状態ではあるものの、待機児童は発生しておりません。保育施設では、年度が進むにつれて入所者が増え、私的待機（入所施設を限定希望しての待機。他の施設を希望すれば入所可能）が発生するのに対し、学童保育所は年度後半に向けて高学年児童が退所し、減少していく傾向があります。今後も年度途中での待機児童が発生しないよう、体制を維持していきます。							
		備考：保育施設と学童保育施設の待機児童数（各年度4月1日時点）							
基本的施策 ③出産希望者の支援									
出生数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		330	306	299	312	未公表			310
R4状況		誘因・要因・課題							
R4年度の値は未公表です。 【参考】R3年度値は、R2年度から13人増加しており、めざそう値（R6）に比べて2人多い状況です。		出生数は令和元年度以前の水準に近づきましたが、全国的には減少傾向が続いています。令和4年の人口動態統計概況（概数）では、全国の出生数が、過去最少（約77万人。前年より約4万人減）を更新しています。人口減少に加えて、晩婚化や晩産化、若い世代の経済状況や雇用環境の悪化、コロナ禍による結婚及び出産控えの影響が大きいと考えられます。子どもを持ちたい家庭の希望をかなえられるよう、支援体制を充実させる必要があります。							
		備考：群馬県の人口動態統計概況							
基本的施策 ④子育て世帯の経済的支援									
子育ての不安を持つ保護者の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		33.1	30.2	26.7	29.1	33.3			20.0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から4.2ポイント低下し、めざそう値（R6）に比べて13.3ポイント低下している状況です。		市民アンケートの結果から、何らかの育児・子育てに関して不安を感じている保護者の回答が微増していることがうかがえます。不安の原因は「経済的不安」が多くを占める中、一方では、「公園・交通機関の整備」といった意見もあります。その不安を解消できるよう、国の子育て施策に注視し、市の子育て施策に取り組む必要があります。							
		備考：まちづくり市民アンケート							

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ⑤子育て環境の整備									
地域における子育て支援事業への協力者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		233	217	196	82	91			250
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から9人増加しており、めざそう値（R6）に比べて159人少ない状況です。		<p>数値が減少した理由は、コロナ禍が続く中、指標の基礎となる子育て講座の参加数や、ファミリーサポートセンターの会員登録が伸び悩んだためです。</p> <p>コロナ禍の状況が改善してくれば、積極的な講座の開催や事業の周知により、協力者数を増やします。</p> <p>備考：子育て応援サポーター認定者数（年間）、子育て応援団登録者数（年間）、ファミリーサポートセンター会員数（育児分）の合計</p>							
基本的施策 ⑥出会いの場の創出									
婚姻届受理数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		209	196	171	161	未公表			230
R4状況		誘因・要因・課題							
R4年度の数値は未公表です。 【参考】前年度から10件減少しており、めざそう値（R6）に比べて69件少ない状況です。		<p>婚姻届受理数は減少傾向にあり、令和3年度の受理数は令和2年度から微減ですが、コロナ前の令和元年度比では85%と大幅に減少しています。要因としては、若い世代の経済状況や雇用環境の悪化、コロナ禍により結婚を控えた人の増加や、出会いの機会が減少したものと想定されます。</p> <p>結婚希望者の弊害となっている社会的要因の改善に向け、取り組みを進める必要があります。</p> <p>備考：群馬県の人口動態統計概況</p>							

基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大（はたらく場）

基本的施策

- ①地域産業の活性化
- ②産業の担い手育成
- ③産業活性化の基盤づくり

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	特産品創出事業 担当課： 商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源に着目し、新たな商品の開発、販路拡大等について、プロフェッショナル人材を招聘し、意欲的に特産品開発に取り組む事業者に対し、商品開発に必要なスキルを習得するための講座（約40日間）を開催した。 ・令和4年度は「食」をテーマに、各自1品を開発または商品の磨き上げを行った。 ・開発された商品は、マルシェ（東京都有楽町）での販売を行い、その後、市のふるさと納税の返礼品に登録し活用しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10事業者の参加があり、各自1品を完成させることができ、大変好評であった。 ・事業スケジュールが、ふるさと納税の駆け込み時期に間に合うよう実施したため、短期間での作業となっしまい、事業者への負担が生じてしまった。 ・自ら稼ぐための必要なスキルを身につけていただく一助となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も引き続き同事業を実施し、自ら稼げる事業者の育成・支援を実施する。 ・令和4年度のテーマ「食」に「工芸」を加え、事業者を募集し、商品開発を実施する。 ・事業スケジュールの見直しを行い、商品開発に注力できる時間も設け、よりよい商品開発につなげる。
2	リノベーションまちづくり事業 担当課： 観光課	令和4年度は「リノベーションまちづくり」の浸透を図るべく、まちづくり講演会を実施するほか、実践者を意識したワークショップを開催し、都市課題の分析を行いました。	ワークショップの開催や職員がまちに出て実践者に触れたことにより、新たな出会いから人と人とのつながりが生まれた結果、マルシェの開催など民間の活力が芽生えました。	都市建設部においてまちなか整備計画等の策定を予定しているため、横断的な連携の強化が必要です。
3	農業次世代人材投資事業 担当課： 農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・独立・自営就農時の年齢が50歳未満の次世代を担う農業者となることに強い意欲を持っている新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する事業（R4活用実績なし） ・新規就農希望者等へ周知並びに桐生地区農業指導センターと協力し、就農相談者へ説明を行った。 	周知は実施したものの、該当となる人材がいなかったため、更なる制度の周知が必要である。 新規就農者へのアプローチも不足であった。	本制度の周知を再度徹底し、活用を促していく。 新規就農相談を桐生地区農業指導センターと共同で行うなど、緊密に連携を取っていく方針である。

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
4	林業技術者育成支援事業 担当課： 農林課	<ul style="list-style-type: none"> ・林業技術者育成支援事業補助金の交付（林業事業者が実施・参加する視察や研修に対する補助） ・自伐型林業推進技術講習の実施 	<p>補助金事業では、林業事業者が受講した研修費用の補助を行い、従事者のスキルアップへつなげることができた。</p> <p>自伐型林業推進技術講習については、チェーンソーの取扱いや伐倒といった実技講習を実施し、8名が受講し、今後の林業事業に対し理解を深めていただくことができた。</p>	<p>林業事業者の能力向上のため、当補助金を積極的に使用していただくよう、引き続き周知する必要がある。</p> <p>自伐型林業推進技術講習については、引き続き同じ内容での講習が、安全に実施できるようにする。</p>
5	企業立地促進事業 担当課： 商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進奨励金の交付 ・奨励金の対象となる事業者の指定 ・企業訪問等における本制度のPR 	<p>奨励金のPRと合わせて、企業が求める土地情報を提供することで企業誘致の実績ができた（R4：2社）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制度開始から10年以上が経過しており、他市と比較し幅広く優遇しているため、効果的な制度への見直しを検討する。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大（はたらく場）										
新規求人数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	861	762	971	1,099	702			1,000
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度から397人減少しており、めざそう値(1,000人)を298人少ない状況です。		<p>令和4年度は前年度と比較すると397人減少しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は小さくなり、景気の前向きな動きが見えきたが、ウクライナ情勢などの影響による資源価格の高騰により、厳しい経営状況が続いている事業者もあります。</p> <p>今後も、不安定な国際状況等の影響により、資源価格の長期化な高騰が懸念され、また、少子高齢化に伴う労働市場の人材のミスマッチによる雇用の過不足が考えられることから、雇用の受け皿となる事業者への継続的な支援が必要となります。</p>								
		備考：桐生職業安定所管内（各年度3月期の新規求人数）								
基本的施策 ①地域産業の活性化										
商品開発・販路拡大の取組件数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(件)	9	11	11	18	35			15
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度から17件増加し、めざそう値(15件)を20件超えている状況です。		<p>販路拡大については、近隣市で行われたビジネスマッチングフェアへの出展などが増え、合計件数では17件の増加になりました。一方、商品開発に関する取組は1件と増加していないため、商品開発に取り組む事業者の掘り起こしや、インターネット販売などによる販路拡大についても支援していく必要があります。</p>								
		備考：新商品開発チャレンジ支援補助事業の年間補助件数								
認定農業者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	185	187	187	187	181			185
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度と比較して6人減少しました。めざそう値(R6)に比べて4人少ない状況です。		<p>既存の認定農業者の更新のみで、新規の認定農業者がいませんでした。</p> <p>認定農業者が減少した要因は、農業後継者がおらず、自身の高齢化による認定更新がされなかったことによるものです。今後も引き続き、新規担い手の掘り起こしに努めていきます。</p>								
		備考：県・市の認定する認定農業者数								
基本的施策 ②産業の担い手育成										
新規林業従事者数			(H29)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	9	4	0	0	0			5
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度から増減はなく、めざそう値(R6)に比べて5人少ない状況です。		<p>みどり市地域おこし協力隊では林業従事希望者を積極的に受け入れており、令和4年度までに4名が卒業してすべて定住し林業に従事しており、そのうち2名が市内で林業を営むようになりました（統計上ではR4年度分として計上されていません。）</p> <p>今後も、任期を終えた隊員が増えることが見込まれますので、市内で林業に従事できるようにすることが課題となっています。地元の林業家や森林組合との関係を強化し、林業従事者として定着させることが必要です。</p>								
		備考：林業従事者実態調査								
新規就農者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	3	8	1	2	3			5
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度から1人増加しており、めざそう値(R6)に比べて2人少ない状況です。		<p>前年度の2名より新規就農者は1人増え3人となりました。作業効率化に向けた新技術の導入に対する補助を行うなど、働きやすく、稼げる農業を推進し、農業の魅力を高めていく必要があります。</p>								
		備考：新規就農者実態調査								
市の融資制度を活用した開業者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(事業所)	12	12	12	12	12			18
R4状況		誘因・要因・課題								
前年度と同数で、めざそう値に比べて6事業所少ない状況です。		<p>令和4年度までに市の融資制度を活用した開業者数は12事業所と横ばいであり、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ情勢などを起因とする資源価格の高騰も大きく影響していると考えられます。</p> <p>今後、資源価格の高騰など不安定な経済状況の中でも、新規開業につながる支援が求められています。</p>								
		備考：起業家チャレンジ資金貸付事業延べ利用者数								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ③産業活性化の基盤づくり										
市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(件)	0	1	3	1	4				2
R4状況	誘因・要因・課題									
前年度から3件増加しており、めざそう値に比べて2件多い状況です。	工場増設が3件、移設が1件、合計4件の利用があり、いずれも製造業の工場の立地です。うち移設の1件は、市外にあった本社と市内にあった2工場を集約し、市内に本社工場を建設したものです。 支援制度の周知と事業者への土地情報の提供により実績が出ています。引き続き、支援を継続することで、企業誘致に取り組みます。									
	備考：企業立地促進事業の指定事業所数									

基本目標 4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）

基本的施策

- ①遊休資産の有効活用
- ②転入者への積極的支援

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	空き家利活用促進事業 担当課： 建築住宅課	大間々町地区で無料相談会を2月に実施し、空き家バンクの登録件数を増やすことができた。 担当課： 全国版空き家バンク（at home）に登録し、全国へ登録物件のPRを行った。	登録件数、成約件数の増加により、施策に寄与することができた。	登録件数と成約件数の増加が引き続きの課題。無料相談会を継続することにより空き家バンクの登録件数を増加させ、多様なニーズに合う物件を提示していく。空き家バンク活用希望者に対して、改修補助等をさまざまな媒体や機会でもPRし、みどり市の空き家活用を促進する。
2	移住促進事業 担当課： 地域創生課	移住促進リーフレットの作成 市ホームページの更新 上記2点を行う予定であったが、令和5年度に移住定住促進プロモーション戦略の策定を行うことになったため、実施を見送った	未実施のため、評価なし	移住先の候補地として選ばれるよう、積極的な周知やPRにより、本市への興味や関心を高める移住施策や地域に関する情報の提供を推進していく。
3	移住支援金交付事業 担当課： 地域創生課	みどり市移住支援金の支給（群馬県移住支援金に参加） 【支給額】 2人以上の世帯:100万円 単身:60万円	単身移住者2件・2人以上の世帯2件（転入者合計7人）に交付し、移住に係る支援をすることができた。	今後も要件を満たしたみどり市への移住者に対して支援金を交付することで、一時的な経済負担を軽減し、東京圏からみどり市への移住促進を図っていく。
4	地域おこし協力隊事業 担当課： 地域創生課	隊員の活動地域をみどり市全域に拡大（4名受け入れのうち大間々町地域を活動地域とする隊員2名） 地域おこし協力隊活動報告会を初開催 地域おこし協力隊だよりの回覧を市全域に拡大	5名の隊員が任期終了となったが、全員が任期満了後も引き続きみどり市に定住している。	受け入れ先の調整が課題であるが、継続して隊員を受け入れることにより、移住・定住を促進し、地域の担い手の核となる人材を増やすと共に、隊員同士の連携の強化を図る。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本目標4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）

社会増減数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績	195人減	40人減	147人増	65人減	32人減			118人減
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から33人増加しており、めざそう値（R6）と比べて86人多い状況です。	令和4年度においては、転入者数は1,646人で前年度比197人増（113.6%）、転出者数は1,678人で前年度比90人増（110.8%）となり、32人の社会減となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動が抑制され、転出者が少なかったことから社会増となっていました。令和3年度から徐々にウィズコロナの社会情勢となり人口移動（転入・転出）が多くなっており、このような中、令和4年度は令和3年度に比較して転入者が増加しておりますので、今後も、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に合った、住みやすいまちづくりをすることで、転入者・定住者数を増やし、KPIの向上につながるものと考えます。								
備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計） 転入者数－転出者数									
基本的施策 ①遊休資産の有効活用									
空き家バンク登録物件活用件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	3	0	0	10	10			4
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度と同数（10件）の実績となり、めざそう値（R6）と比べて6件多い状況です。	令和3年度、令和4年度は活用件数が10件と増加しております。令和4年度事業として、大間々町地区で無料相談会を2月に実施し、空き家バンクの登録件数を増やすことが出来ました。また、全国版空き家バンク(at home)に登録し、全国へ登録物件のPRを行いました。今後も、空き家バンク登録件数の増加が見込まれますが、引き続き活用件数の増加を図るため、無料相談会等を継続していく必要があります。								
備考：空き家バンク登録台帳									
基本的施策 ②転入者への積極的支援									
転入者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	1,545	1,667	1,571	1,449	1,646			1,550
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から197人増加し、めざそう値（R6）と比べて96人多い状況です。	転入者数は、コロナ禍の影響もあり令和2年度、3年度と減少しておりましたが、ウィズコロナの社会情勢となったことから、令和4年度では増加しました。引き続きオンラインによる移住相談や子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計）									
新規住宅建築件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	185	240	185	194	189			185
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から5件減少しており、めざそう値（R6）に比べて4件多い状況となっています。	令和元年度は消費税が10%に増税されたことによる駆け込み需要があったため大きく増加し、令和2年度はその反動や、新型コロナウイルスの影響もあり、前年比で55件減少しました。令和3年度は増加に転じましたが、令和4年度については建築資材価格高騰の影響もあり減少となっています。引き続き新規住宅建築による定住人口の増加を図るため、子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
備考：固定資産の価格等の概要調書									

基本目標 5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

基本的施策

- ①多様な媒体で魅力発信
- ②交流ゾーンの整備
- ③観光の広域連携
- ④独自イベントの実施

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	観光PR事業 担当課： 観光課	観光振興の旗振り役を担う「一般社団法人みどり市観光協会」を設立しました。	長年の懸案事項でありました、観光協会を設立できたことは評価に値すると考えられます。	観光協会を起点に民間の視点を活かした柔軟かつスピード感のある公民連携の事業展開が必要です。
2	東地域活性化・交流促進事業	小夜戸大畑花桃まつりはコロナウイルス感染症の影響でイベントは開催されなかったが、花桃のライトアップの増設。夜間でも、地域の魅力を引き出せ訪れることができるように地域との交流促進を図った。	コロナ過ではあるが、来場者につきまちは増加となり一定の成果は出ている。 R3：5,845人 R4：7,061人	花桃街道の来場者が増加したことにより慢性的な渋滞や交通事故が発生している。交通安全対策や駐車場の増設など課題である。 地域活性化や交流人口の増加に繋げる取組を実施する。
	担当課： 東市民生活課	少子化に伴うあずま小中学校の統廃合により、使用しなくなった東中学校の体育館を活用してボルダリングジムを整備し、学校の事業での活用による子供達の基礎体力の向上や、一般に開放することで地域外から訪れる人との地域間交流の拡大を図るもの	令和4年度に整備し年間の利用目標を1,200人としている。	ジュニア向けのイベントや企画を行い交流人口を増加する取組が必要です。
3	林業体験イベント事業 担当課： 農林課	・ぐんま緑の県民基金事業を利用し、群馬県民を対象に林業体験イベントを実施。	2部構成で実施し、参加者からのアンケートも好評な意見が多かった。 墨田区・台東区の親子を対象とした、都市間交流で計画したイベントはコロナウイルスの警戒度が高く実施できなかった。	大人と子供が一緒になり林業について学ぶことができる良い機会であるため、今後も継続して実施したい。 都市間交流のイベントについてもコロナウイルス感染症の動向を注視し、実施に繋げたい。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本目標 5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

観光客入込数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(万人)	241	233	141	157 (10月確定)	164 (10月確定)			300
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から7万人増加しており、めざそう値(R6)に比べて136万人少ない状況です。	令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、夏まつり等の各種イベントは縮小等で開催し、個人旅行誘客強化事業等によるニューノーマルに対応した新たな観光スタイルの浸透等により令和3年度より若干の増加となったと考えられます。								
	備考：観光客数・消費額調査								
基本的施策 ①多様な媒体で魅力発信									
SNSフォロワー数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	1,030	2,150	3,580	4,310	4,674			3,000
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から364人増加しており、めざそう値(R6)に比べて1,674人多い状況です。	観光課が開設したインスタグラムにおいては、行政側からの発信にとどまらず、フォトコンテストを開催したことで、参加者がフォロワーとなり発信することによる相乗効果によりフォロワー数の増加に繋がったと考えられます。今後は、みどり市観光協会の設立したことによる情報発信の強化のスピード感が求められます。								
	備考：インスタグラムみどり市公式アカウント								
みどり市観光ガイドの会利用者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	3,797	4,336	420	645	1,594			6,000
R3状況	誘因・要因・課題								
前年度から949人増加しており、めざそう値(R6)に比べて4,406人少ない状況です。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、団体客の減少が大きな要因となります。今後は、みどり市観光協会の設立によりガイドの会事務局も同協会に移りましたので、より効果的な運営が求められます。								
	備考：みどり市観光ガイドの会実績報告書								
基本的施策 ②交流ゾーンの整備									
観光資源数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	31	34	34	34	34			35
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から増減はなく、めざそう値(R6)に比べて1件少ない状況です。	群馬デスティネーションキャンペーンの開催を見据え令和元年度には3件増加し、令和2年度から令和4年度では新型コロナウイルス感染症の影響により、団体から個人旅行の誘客事業へシフトした個人旅行誘客強化事業において市内資源の再発見等に取り組んでからは横ばいの状況です。今後は、観光資源数といった数のみに目を向けるのではなく、観光資源をいかにして活用していくのが課題となります。								
	備考：群馬県観光地点等名簿								
基本的施策 ③観光の広域連携									
市内全駅の年間乗降客数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(万人)	166	164	108	117	129			169
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から12万人増えましたが、めざそう値(R6)より40万人少ない状況です。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全国的に鉄道利用者は大幅に減少しています。年間乗降客数は令和3年度より増加しましたが、コロナ前の令和元年度比では78.6%でした。基本的施策である観光の広域連携として鉄道の年間乗降客数をKPIとしておりますが、アフターコロナを踏まえた取組と公共交通の利用啓発が課題となっています。								
	備考：鉄道各社の市内駅乗降客数を集計								
基本的施策 ④独自イベントの実施									
各種イベント開催時の観光客数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	236,524	195,577	5,000	24,723	66,388			260,000
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から41,665人増加しており、めざそう値(R6)に比べて193,612人少ない状況です。	令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの縮小開催等を余儀なくされましたが、笠懸まつりにおいては会場を変更して開催できたこと等により令和3年度よりも増加となりました。引き続き、夏まつりをはじめ、各イベントの見直し等を各実行委員会や関係団体との調整を進め、ニューノーマルに対応したイベント自体のあり方の検討も必要です。								
	備考：観光客数・消費額調査のうちイベントの観光客数								

強化目標A 民間との協働を推進（民間協働）

基本的施策

- ①ボランティア・NPOとの協働
- ②企業・団体との協働

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	市民活動推進事業 担当課： 地域創生課	新型コロナウイルスの影響で活動できていない市民団体に対し、地域課題に取り組む公益的な事業や感染症対策や新しい生活様式に対応するための事業を対象に市民活動助成金を支給。	市民活動助成金を交付した57団体については、コロナ禍により停滞していた活動の再開や地域課題解決への取り組み、新しい生活様式に対応することができた。	市民や団体関係者を対象とした講演会や研修会の開催、団体活動情報の市民周知、団体関係者間の情報交換を行い、市民と行政が協働したまちづくりを推進する。
2	地域創生支援補助事業 担当課： 地域創生課	地域の活性化に寄与するため、将来の構想を持って地域づくり活動に取り組む団体に対し、事業実施に係る費用を補助。	令和4年度は、「いんばうんど戦略会議（みどり市インバウンド研究会）」「東の風中学生剣道大会（東風の会）」に対し補助金を交付。地域創生に資する事業を支援できた。	補助対象事業（平成27～31年度に着手された事業）は、「いんばうんど戦略会議（みどり市インバウンド研究会）」のみとなったが、事業実施により地域の活性化を目指す。
3	包括連携協定事業 担当課： 地域創生課	包括連携協定先との事業実施 ・各種審議会等への委員就任（桐生大学） ・インターンシップ、教育実習の受入れ（桐生大学） ・市職員研修や市民講座への講師派遣 など	協定に基づき、まちづくりの推進や保健・福祉の向上に寄与する事業を実施できた。	包括連携協定によって、市民サービスの向上などを図れる場合は、新規事業の実施に向けて積極的に取り組んでいく。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

強化目標A 民間との協働を推進（民間協働）

ボランティア・NPO活動をしている市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	11.8	14.2	11.7	9.0	11.4			25.0

R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.4ポイント増加しており、めざそう値（R6）に比べて13.6ポイント低い状況です。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限が解除したことにより、徐々に活動できるようになってきました。令和4年度は講演会や活動発表など行い、市民活動のきっかけ作りを行いました。引き続き、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境を整えていく必要があります。								
備考：まちづくり市民アンケート									

連携により実施した事業数(企業・団体)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(事業)	47	50	55	69	60			55

R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から9件減少しており、めざそう値（R6）は達成していません。	桐生大学・新田みどり農協とは定期的に会議を開催し、順調に事業を実施しています。また、新たに包括連携先が1団体増え、市民の健康増進への支援や市の事業周知への協力等、幅広く取り組んでいるため、連携事業の増加につながりました。今後も継続して企業や団体との連携による取り組みを推進していきます。								
備考：包括的な連携協定に基づき実施した延べ事業数									

基本的施策 ①ボランティア・NPOとの協働

地域活動に取り組む市民団体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(団体)	56	60	59	59	62			70

R4状況	誘因・要因・課題								
前年度に比べ3団体増加しており、めざそう値（R6）に比べて8件少ない状況です。	団体情報の登録・更新については、広報や市ホームページにより呼びかけています。新たに3団体の登録がありました。令和4年度限定で市民活動助成金の交付を行い、活動の再開や継続の助成になりました。今後も、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境づくり取り組み、市民活動の活性化を推進するとともに新規設立団体や既存団体の掘り起こしに力を入れる必要があります。								
備考：市が把握しているボランティア・NPO団体数									

基本的施策 ②企業・団体との協働

連携協定を締結している企業・団体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(団体)	6	6	8	10	11			8

R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から1件増加しており、めざそう値（R6）を達成している状況です。	団体からの連携協定の締結の申し入れを受け、連携して活動を行うことによる、さらなる市民サービスの向上や地域の活性化を目指し、協議を進めたところ、新たに2団体と連携協定を締結することができました。引き続き、多様な団体と連携し、協働して活動を行うことにより、地域の活性化や市民サービスのより一層の向上を図ります。								
備考：市との包括的な連携協定を締結している企業・団体等の数									

強化目標B 誰もが活躍できる地域社会を実現（全員活躍）

基本的施策

- ①健康維持で生涯活躍
- ②女性の社会進出支援
- ③障がい者の自立と共生

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	健康増進支援事業 担当課： 健康管理課	<p>参加者（年度末時点）719人 毎日の歩数やデータ送信でポイントを付与。「みどり市元気アップ商品券」と交換し、市内協力店で利用できるようにした。（交付枚数1,179枚）</p> <p>また安全にウォーキングを継続できるよう健康運動指導士によるウォーキング指導を実施した。（初回説明会111人、ウォーキングイベント23人）</p> <p>事業周知と新規参加者勧誘のため、企業やショッピングモールでの出張測定会を実施した（3回105人）。また「みどり市どこでも出前講座」に体組成測定を登録し、本事業の周知と測定、健康教育を行った（2回24人）。</p>	<p>本事業に参加する市民も少しずつ増えているが、伸び悩みが見られる。30歳代の継続率が6割で、ほかの年齢層に比べて低い。関心がある人たちなので、継続してもらえるような魅力ある取り組みが必要である。</p> <p>バーチャルイベント期間は歩数が増えるが、終了後減ってしまう。</p> <p>新規参加者に事後アンケートをしたところ、「積極的に身体を動かすようになった」「以前から動いている」（89%）、「運動以外の健康面に気をつけるようになった」「これから気をつけたい」（65%）など意識の向上も見られている。</p>	<p>参加者の66.8%が65歳以上と高齢者であり、介護予防の観点から長く継続できるように支援していく。</p> <p>また働き盛りの40～50歳代の参加を促し、生活習慣病予防を図る。</p> <p>歩数を増やすため、ポイント付与を見直し、千歩ごと1日最大6ポイントに増やす。</p> <p>地方創生推進交付金が、令和6年度で終了となり、その後（令和7年度以降）の財源不足が懸念される。</p> <p>市民の健康増進、医療費削減につながる事業展開や評価方法を検討する。</p>
2	ポッチャ普及事業 担当課： スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ポッチャ大会の開催 開催日：2月18日（土） 会 場：みどり市民体育館 参加者：32チーム 約150人 ・桐生市みどり市連携事業 ポッチャフェスティバルの開催 開催日：10月16日 会 場：桐生市民体育館 参加者：20チーム 213人（内みどり市10チーム 97人） ・出前講座（ポッチャ体験） 実施回数：34回 参加者数：延べ1,704人 	<p>老若男女、障がいの有無に関わらず誰でも楽しむことができるスポーツであるポッチャ競技を学び、楽しむことは「心のバリアフリー」へつながった。</p>	<p>ポッチャ競技の普及を図るため、スポーツ推進委員及び競技団体（ポッチャ協会）の協力のもと、指導者の育成と競技人口の拡充を図る。</p>

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
3	男女共同参画推進事業 担当課： 地域創生課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の開催 ・ 講演会の開催 ・ 男性保護者向けオンライン料理教室の配信 ・ 市職員向け研修 	男性保護者向けの料理教室は、感染症拡大のためオンラインで実施した。コロナ下であっても男女共同参画を推進できるよう工夫して取り組んだ。	今後も、男女共同参画社会の実現のため、第3次みどり市男女共同参画プラン(令和2～6年度)を軸に推進を行う。
4	基幹相談支援センター事業 担当課： 社会福祉課	<p>6月1日に社会福祉法人希望の家に業務委託し、障がい福祉に関する各種相談や情報提供などの支援を総合的に行った。また、相談支援事業所等に対する相談対応や支援策などの助言、調整等を行ったほか、相談員向けのメンタルヘルス研修等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数 348件 	<p>サービス等利用計画等の内容確認や重層的支援体制整備ワーキンググループへの参加により、支援を必要としている人に必要な支援の提供ができています。</p> <p>また、相談支援事業所への巡回訪問や相談支援連絡会議への参加により、各相談支援事業所との連携強化が図れた。</p>	市が委託する相談支援事業所が基幹相談支援センターの業務委託を担っているため、相談支援専門員の人数が十分に確保されていない状況である。令和6年度以降、新たな委託契約を締結予定であることから、委託先との折衝及び主任相談支援専門員の確保を早急に進めていく必要がある。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

強化目標B 誰もが活躍できる地域社会を実現（全員活躍）

生きがいを持っている高齢者割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		80.9	81.2	79.6	77.3	76.2			88.0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から1.1ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて11.8ポイント低い状況です。	新型コロナウイルスの影響で、長期に渡り友人や地域の人たちとの交流が減ったことが要因と考えられます。高齢者の交流機会を創出し、住み慣れた地域で生きがいをもって生活できる環境づくりを推進していきます。								
備考：まちづくり市民アンケート									
男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		62.9	63.6	55.6	57.5	50.2			75.0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から7.2ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて24.8ポイント低い状況です。	前年より減少しています。要因の一つとして、コロナ禍による外出自粛や休業等が解除されるに伴い、女性の家事・育児負担の増加が影響しているものと考えられます。そのため、継続した男性の家事育児参加等に関する啓発活動を行うことにより、「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識や無意識の偏見を解消していく必要があります。								
備考：まちづくり市民アンケート									
企業の障がい者雇用率		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		2.09	1.84	2.01	2.26	2.12			2.30
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から0.14ポイント減少しており、目指そう値（R6）に比べて0.18ポイント少ない状況です。	障害者の職業紹介状況は令和3年度より増加していますが、コロナ禍の影響で企業側の求人活動が慎重になっていることから、実雇用率に結びついていない状況です。今後行われる法定雇用率引上げと事業者支援策の強化などについて、引き続き、国や関係部局と連携した広報活動を行い、障がい者の自立に向けた取組を行っていく必要があります。								
備考：桐生職業安定所集計のうちみどり市分									
基本的施策 ①健康維持で生涯活躍									
健康のために実践している平均項目数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(項目)		4.7	4.8	4.8	4.8	4.6			7.0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から0.2ポイント減少しており、目指そう値（R6）に比べて2.4ポイント少ない状況です。	まちづくり市民アンケートの回答での項目で前年度と比べて横ばいですが、「年に1回は健診（検診）を受けている」は増加しています。また、「朝食を毎日摂る」「年に1回は健診（検診）を受けている」「タバコを吸わない」は6割を超える人が継続して実践しています。「週1回60分以上又は、週2回30分以上運動」「主食、主菜、副菜のそろった食事を摂る」「間食をしない」が減少傾向にあります。アフターコロナとなり、生活に変化が出ることが予想されるため、健康に関する情報の周知方法の工夫や選択肢を増やして行っていく必要があります。引き続き生活習慣病の発症や重症化予防の重要性を発信し、その人の生活に合わせた健康行動の実践につながるよう、「あるくまちみどり」の推進や各種健診・健康教育等を行なっていきます。								
備考：まちづくり市民アンケート									
基本的施策 ②女性の社会進出支援									
女性就労支援のための相談会・研修会実施回数（年間）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(回)		2	2	0	1	3			2
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から2件増加しており、めざそう値（2回）に比べて1回多い状況です。	群馬県と連携した「再就職支援セミナー」を開催しました。働きたいと思っている女性の参加がありました。今後も女性が家事や子育てに制限されることなく社会に参画しやすい環境になるよう、群馬県や関係機関と連携し取組を推進していく必要があります。								
備考：県・市などが主催する相談会・研修会実施回数									
審議会等における女性委員の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		26.2	28.6	28.8	26.3	24.5			35.0
R4状況		誘因・要因・課題							
前年度から1.8ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて10.5ポイント低い状況です。	女性委員の割合はめざそう値に届いていない状況であり、各所属の所管する審議会等においては男性委員の割合が多い状況は変わっていません。継続して、「みどり市審議会等の取扱いに関する指針」の全庁的に周知や積極的に働きかけを実施し、女性委員の就任を推進していきます。								
備考：市政に関する審議会等の女性委員割合									

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ③障がい者の自立と共生

自立支援給付を受けて地域生活している人数	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)	401	410	438	488	509			550

R4状況

誘因・要因・課題

前年度と比べて21人増加しており、めざそう値（R6）に比べて41人少ない状況です。

障害に対する認識が広がり、必要な支援につなげられている結果、障害福祉サービス利用者は年々増加傾向にあります。しかし、その一方で、プラン作成等を行う相談員の確保が課題となっています。地域生活支援拠点の整備による報酬加算や相談員のメンタルヘルス研修など、相談員の職務環境向上に取り組み、引き続き自立支援給付の拡大に努めていく必要があります。

備考：自立支援給付事業利用者数

強化目標C 都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化（交流促進）

基本的施策

- ①地域間交流・連携の推進
- ②地方創生のための財源確保

施策に紐づく事業の取り組み（主な事務事業）

No.	事業名	R4年度主な取り組み	取り組みに対する自己評価	課題と今後の方針
1	ホストタウン推進事業 担当課： スポーツ振興課	・障害平等研修会（職員研修）を開催 期 日：1月25日 参加者：34人 講 師：DET群馬	・研修を通じて、社会の中にある様々な障害を見抜く力を養い「障害は個人の問題」という意識から「周りの環境を皆で変えていくことにより解決していく問題」へと意識を改革することができた。	香港ボッチャチームとのオンライン交流の実現に向け、実施方法等の検討を進める。
2	都市間交流事業 担当課： 地域創生課	・ふるさと交流ショップ台東への出店 ・キャンパスコモン オープニングイベント（墨田区）への出店 ・東武鉄道沿線の都内自治体（墨田区・台東区）住民を対象とする体験モニターツアー開催	ふるさと交流ショップ台東に初出店することができた。また、墨田区によるイベントにも参加し、みどり市をPRすることができた。体験モニターツアーも実施することができ、交流人口、関係人口の拡大を図った。	都市間交流を推進することにより、自治体間の様々なつながりやきっかけを活用し、交流人口、関係人口の増加を目指す。
3	ふるさと思いやり寄附金特産品等贈呈事業 担当課： 地域創生課	・新規返礼品の開発 ・ふるさと納税ポータルサイト（ANA・JAL）の増加	新規返礼品の開発、ふるさと納税ポータルサイトの増加により、前年度より寄附件数・寄附金額が大幅に増加した。	新規返礼品の開発による返礼品の充実と共に、みどり市返礼品特集ページの更新等により市のPRを図る。また、寄附件数が増加しているため、業者に業務を委託し、新規返礼品の開拓に注力する。

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

強化目標C 都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化（交流促進）

連携により実施した延べ事業数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(事業)		53	53	63	78	78			65
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度と同数で、めざそう値（R6）を達成しています。	<p>両毛広域都市圏総合整備推進協議会や包括連携協定先との事業は順調に実施しており、包括連携協定先との取組も継続されている状態です。また、令和元年度に桐生・みどり未来創生会議を設置し、桐生市との連携について協議を進めたことによる事業も実施されています。今後も、関係人口の増加や効率的な事業を推進するため、近隣自治体や都市部の自治体などと連携や交流を推進していく必要があります。</p> <p>備考：他自治体との協議会・協定等に基づき実施した延べ事業数</p>								
基本的施策 ①地域間交流・連携の推進									
交流人口増加を目的に連携している自治体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(自治体)		12	12	12	12	12			15
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度と同様の数値であり、めざそう値（R6）に比べて3自治体少ない状況です。	<p>「両毛広域都市圏総合整備推進協議会」で連携する両毛地域10自治体及び都市間交流事業で連携する東京都墨田区、台東区の合計12自治体であり、平成30年度から自治体数は変わっていません。今後も、自治体間の様々なつながりやきっかけを活用し、交流人口増加を目的とした都市間連携を推進していきます。</p> <p>備考：包括連携組織・都市間交流等により連携している自治体数</p>								
基本的施策 ②地方創生のための財源確保									
ふるさと納税件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		130	178	278	851	1,212			200
R4状況	誘因・要因・課題								
前年度から361件増加しており、めざそう値（R6）に比べて1,012件多い状況です。	<p>前年度より大幅に増加しています。令和3年度に続き新規返礼品の充実が主な要因として考えられます。引き続き、返礼品の充実やPRに努め、みどり市の応援者の増加を図ります。</p> <p>備考：ふるさと納税申込件数</p>								